

平成28年2月7日掲載

「ふくいの名木」

ふくいの名木・名花ブック	P239
名 称	わかみやはちまんじんじゃのおおすぎ ----- 若宮八幡神社の大杉
所 在 地	かつやましへいせんじちょう ----- 勝山市平泉寺町
見 頃	通年
記 事	かつて白山信仰を背景に強大な宗教勢力を誇り、現在は「白山平泉寺旧境内」として国の史跡に指定されている平泉寺。南谷三千六百坊跡の若宮八幡神社にそびえる杉の大木は、天正二年（1574年）に平泉寺が一向一揆との戦いに敗れ、全山焼失した際に耐えて残った木の7本のうちの1本といわれている。無数の太い枝を四方八方に伸ばし、まるで脇の小さな御堂を守っているかのような威厳を感じる。樹高約30m、幹回り約7m、推定樹齢約500年。
写 真	
問い合わせ先	福井県総合グリーンセンター ☎0776(67)0002